

平成 2 6 年

第 1 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 6 年 2 月 1 8 日

平成26年第1回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告をさせていただきます。

はじめに、昨年12月1日から教育委員会委員に異動があり、教育委員長に安部哲男委員、教育委員長職務代理者に河原田修委員が就任し、佐久間健一委員、坂本佐穂委員、そして私熊谷徹が教育長という新しい体制となりました。本来であれば平成25年第7回仙北市議会定例会の教育行政報告で、このことを報告すべき事項であったにもかかわらず、報告を失念してしまい、皆様に多大のご迷惑をおかけしましたことに対し、衷心よりお詫び申し上げます。

これまでの度重なる事故等の事案もかんがみ、仙北市職員事故等審査委員会からの審査結果報告も踏まえ、平成25年12月22日の第14回仙北市教育委員会臨時会において協議し、私教育長に対し戒告、教育部長に対し厳重注意の処分を行いました。

この処分は、教育委員会全体の大きな失態であることを真摯に受け止め、今後、事務処理等における、法令の遵守、チェック体制の強化、上司への報告・連絡・相談の徹底等、事務体制全般を包括的に見直すとともに、職員間の円滑な意思疎通による情報の共有化に努め、再びこのようなミスを繰り返すことのないよう、日々緊張感を持って職務の遂行に当たって参ります。

誠に申し訳ありませんでした。

次に各課について申し上げます。

【教育指導課】

◇仙北市子ども議会開催について

1月9日に仙北市議会議場において、市内各小・中学校児

童・生徒会代表者2人ずつ、計24人が議員となり、仙北市になって初めての仙北市子ども議会を開催いたしました。

各校の児童・生徒会から集められた質問を集約し、7人の中学生議員が一般質問に立ちました。「各地域の良さを、仙北市の良さとしてPRしてはどうか。」「仙北市に総合型体育施設をつくれば、市が活性化するはず……。」「名産品を市民がよく知ることが大切。給食で全児童生徒に提供しては……。」などの鋭い質問があり、市長や教育長からは「年代層にあったPR方法を研究したい。」「体育施設については、知恵を集めて検討していきたい。」「市の特産物を給食でもっと提供できるようがんばりたい。」などの答弁があり、真剣な質疑応答が行われました。

市議会議員の皆様をはじめ、傍聴いただいた方々は約50人となり大盛況でありました。

仙北市の未来を担う子どもたちに、行政や市の課題について理解と関心を深めてもらう大変良い機会となりました。

◇全県中学校スキー大会について

1月12日から15日まで、たざわ湖スキー場において、第57回全県中学校スキー大会（クロスカントリー・アルペン競技）が高等学校総合体育大会スキー競技会と合同で開催されました。生保内中学校3年生の田口星奈選手が女子回転で4位、大回転で6位、同中学校3年生の鈴木雅選手がクロスカントリー女子3キロフリーで3位、桜木内中学校3年生阿部大樹選手がクロスカントリー男子5キロフリーで5位、5キロクラシカルで8位に入賞し、3人が東北大会と全国大会の切符を手にししました。

また、開会式や競技運営等での生保内中学校生徒の活躍にも、関係者から賛辞の声がありました。

◇東北地域食育コンクール受賞について

中川小学校では、3年前から全校児童による田植え、稲刈りなどの稲作体験活動や「みんなニコニコ米」ブランドとしての宣伝ポスター、チラシ作り、販売体験など、生産から販売までの学習活動に取り組んでおります。この活動内容が評価され、農林水産省東北農政局が主催する「平成25年度東北地域食育コンクール」の農林漁業体験分野において、食育活動表彰審査部会長賞を受賞いたしました。2月19日に仙台市で行われる受賞式に校長が出席いたします。

◇インフルエンザによる出席停止の状況について

角館小学校4年竹組が1月22日から1月24日までの3日間、同小学校4年松組と梅組が1月29日から1月31日までの3日間、同小学校5年竹組が2月4日から2月6日までの3日間、インフルエンザの集団発生により学級閉鎖いたしました。

2月17日現在、市立幼稚園、小・中学校において、学年・学級閉鎖はありませんが、インフルエンザによる児童生徒の出席停止が継続して発生しており、2月14日現在、大仙保健所管内ではインフルエンザ流行拡大に関する注意報が発表されております。

今後も手洗いやうがい、マスクの着用など、予防策を徹底するよう各学校に呼びかけて参ります。

【生涯学習課】

◇荒木田裕子氏講演会について

12月24日、仙北市民会館を会場に、仙北市出身のオリンピック招致委員会理事である荒木田裕子氏をお招きし「スポーツの力、オリンピックの魅力」と題した講演会を開催しました。当日は、市民の方々と小・中学生合わせて950人が会場を埋め尽くしました。講演会では、ご自身のアスリートとしての経験談やオリンピック招致活動で優れた語学力を

駆使して、世界を奔走した数々のエピソードなどが紹介されました。特に6年後に開催される2020東京オリンピックでは、現在の小・中学生の皆さんが選手のみならず通訳や補助員、案内人など、様々な形で参加できるので、それまで努力して自分を磨いてほしいと話され、子どもたちは目を輝かせて聞き入っておりました。

自分の将来の夢や生き方を考え、努力の大切さを知る絶好の機会となりました。

◇仙北市総合美術展について

2月5日から16日まで、第3回仙北市総合美術展が角館町平福記念美術館で開催されました。127人と1グループから丹精込めて製作した絵画や書、写真のほか、手芸、工芸品など、203点の出展がありました。彫刻やカルトナージュ（厚紙工作）など新しい分野の作品もあり、市民の生涯学習の幅の広さを実感することができ、来館者は出展者の力作を熱心に鑑賞していました。また、出展された皆さんが、作品について情報交換をするなど、交流の輪が広がり、それぞれの技術の向上が図られた有意義な美術展となりました。

【公民館】

◇新春書き初め大会について

1月8日、田沢湖、角館、西木公民館合同による「仙北市新春書き初め大会」が、角館交流センターを会場に開催されました。

さわやかな墨の香りが漂う中、市内の小学生29人、中学生7人、高校生9人の計45人が参加し、「うまどし」や「高い文化」など、各学年ごとの課題に取り組み、新年の思いを込めて真剣に筆を運んでおりました。

また、角館南高校書道部による書道パフォーマンスが披露され、大胆な表現手法や一筆にかける思いは、会場内を熱く

させていただきました。

作品は、1月9日から30日まで「ワンダーモール角館店」に展示され、訪れた方々に鑑賞していただきました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇仙北市読書感想文コンクールについて

学習資料館では、仙北市教育委員会主催、角館図書館後援会後援による第3回仙北市読書感想文コンクールを実施しました。市内小・中学校から146点、高校生及び一般の部に20点の応募がありました。入選作品29点の中から仙北市長賞2点、角館図書館後援会長賞3点、仙北市教育長賞3点を選出し、2月23日に仙北市総合情報センターで表彰式を行います。

【市民会館】

◇ロビーコンサートについて

12月20日に、市民会館の自主事業として毎年開催しているロビーコンサートを開催しました。今回は地元のアーティストに出演いただき、雪が舞う悪天候にもかかわらず約50人の方々が足を運んでくださいました。

また、1月11日と12日には「ストリートダンスフェスティバル」、1月26日には「第30回たざわこ音楽祭」が開催され、多くの方々に市民会館をご利用いただいております。

【スポーツ振興課】

◇スポーツ活動状況について

1月11日から15日まで全県高校総体スキー競技会と全県中学総体スキー競技会のアルペン競技とクロスカントリー競技が、また、1月17日から20日までは、県民体育大会冬季大会スキー競技会のアルペン種目が、たざわ湖スキー場と田沢湖スポーツセンターで行われました。いずれの競技会

も仙北市では2年ぶりの開催となりました。

2年連続の開催となるJ S B A全日本スノーボードテクニカル選手権大会も、2月27日から3月2日まで開催予定で、300人近いスノーボーダーがたざわ湖スキー場で技を競い合います。

また、3月14日から16日まで開催予定の2014フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会についても、ソチオリンピックに出場した選手が参加されることを期待しながら、開催に向け準備を進めております。

【文化財課】

◇重要伝統的建造物群保存地区修理事業について

補助事業の重要伝統的建造物群保存地区修理事業 小田野家主屋改修工事（I期工事）については、11月15日に工事契約し、3月末の完成を目指しています。

名勝桜木内川堤のサクラについては、ソメイヨシノ花芽食害防止と景観保全を目的として、2月1日から3月1日までの29日間、ウソの有害鳥獣捕獲を角館猟友会に委託しております。

樹木からの落雪による事故が2件発生しており、武家屋敷通り線への車両乗り入れについての注意と、できるだけ岩瀬北野線を利用していただくよう周知しているところです。

【平福記念美術館】

◇児童生徒県南美術展について

12月5日から1月29日まで、第36回児童生徒県南美術展を開催いたしました。県南地区の小・中学校90校から出品された1,086点の作品を展示いたしました。11月30日の審査会で特賞24点、奨励賞200点、その他862点の入選を決定し、1月26日に特賞受賞者の表彰式を開催し、賞状と記念品を授与いたしました。会期中は、家族連

れの来館者が多く、2,348人の方々が訪れております。今後もこの企画展が県南地区児童生徒の美術教育の一環として、豊かな情操教育の一助となるよう更なる充実に努めて参ります。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、引き続き教育行政の基本方針及び主要な施策の概要について申し上げます。